

5 交通手段からみた人の動き

1. 市町村別の鉄道端末手段構成

- 鉄道駅へ行くため、あるいは鉄道駅から降りてからの交通手段（鉄道端末手段）の構成を市町村別にみると、橿原市、生駒市、三郷町では徒歩の割合が6割を超えています。
- 斑鳩町、安堵町、三宅町、田原本町では自転車の割合が高くなっています。

※十津川村、下北山村については該当サンプルがないため、グラフの作図は割愛しています。

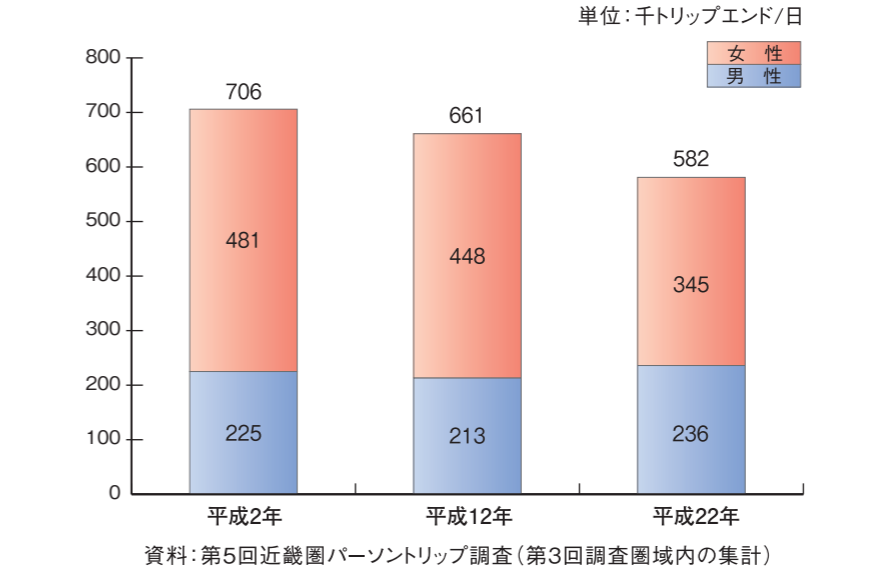


資料：第5回近畿圏パーソントリップ調査（第5回調査圏域内の集計）

図23 市町村別の鉄道端末手段構成比（平成22年）

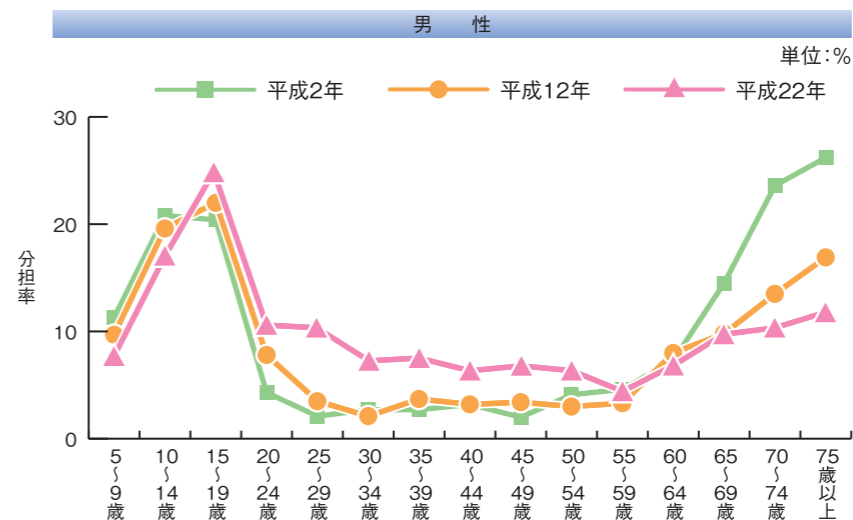
2. 自転車利用トリップの推移

- 自転車トリップの推移を男女別にみると、平成12年から平成22年にかけて、**女性の自転車利用が大きく減少し、男性は微増**しています。

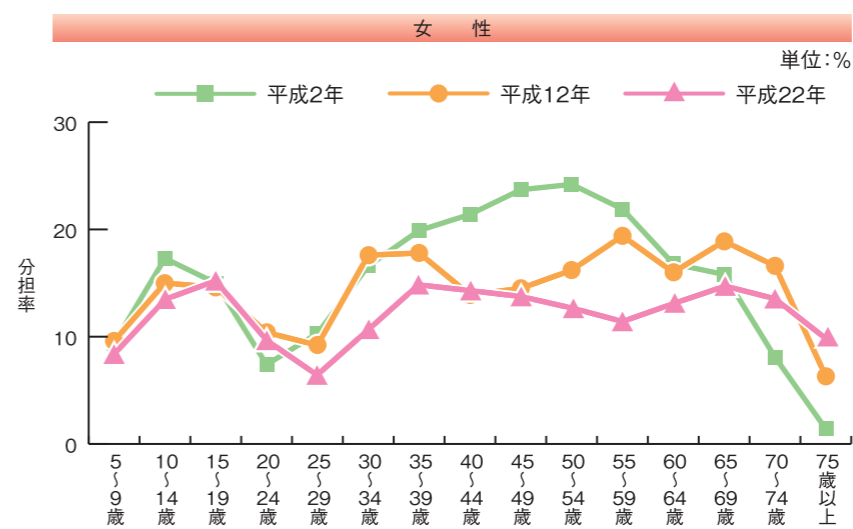


資料：第5回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査圏域内の集計）

図24 男女別にみた自転車（代表交通手段）の発生集中量の推移（平成2年～平成22年）



- 男性の自転車分担率を年齢階層別にみると、平成12年から平成22年にかけて、**20～40歳代の自転車の分担率が増加**しています。



資料：第5回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査圏域内の集計）

図25 年齢階層別にみた自転車（代表交通手段）分担率の推移（平成2年～平成22年）

- 女性の自転車分担率を年齢階層別にみると、平成12年から平成22年にかけて、**20歳代以上において、自転車の分担率が大きく減少**しています。